



「へえ～」、「なるほど」がいっぱい

旬な現場

平成26年12月25日

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所

～ 普段見られない工事の様子、詳しくお見せします～

御前崎港 防波堤の整備が大詰めを迎える
～津波対策や安全な船舶荷役に期待～

1. 事業概要

御前崎港では、西ふ頭岸壁の荒天時における前面泊地の静穏度を確保するため、防波堤の整備を平成27年度完成目標として国直轄事業で行っています。

御前崎港沖合では防波堤の設置作業が大詰めを迎え、延長1200mにおよぶ防波堤（東）の最後のケーソン据付けが12月9日に行われました。この防波堤は「ケーソン」と呼ぶ鉄筋コンクリートの箱形の構造物を海中に並べて造っており、西ふ頭で製作されたものを海中に設置しました。

当日の作業は、ケーソンを水面に浮かべた状態で海上を曳航し、起重機船で位置を調整しながら注水して、あらかじめ海中に石で造られた土台（マウンド）に並べて据付けました。

2. 事業の効果

御前崎港は、コンテナ船やフェリー、自動車運搬船などが利用しており、この防波堤整備事業により、御前崎港に入港する船舶の安全な荷役が確保され、港背後の道路整備進捗と共に使いやすい港として港背後圏の産業立地環境を改善する狙いがあります。

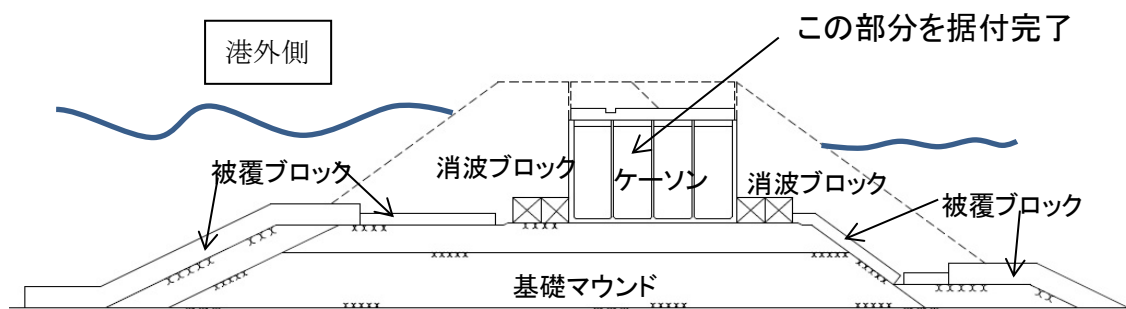
また、この防波堤整備により津波による浸水を小さくする効果や御前崎港は荒天時の小型船舶の避難場所としての役割も期待されています。



御前崎港航空写真
(赤の四角はケーソン据付け場所)



御前崎港背後の道路整備状況



防波堤(東)の堤頭部の断面図

ケーソンの大きさは、高さ 11.5m × 幅 17.9m × 奥行き 15.8m で、重量は約 1,900t あります。
 ※高さ 11.5m は 3 階建ての建物の高さ相当。 重量 1,900t は小型乗用車 1,900 台の重量相当。

4. 配布先： 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、静岡県政記者クラブ
 静岡市政記者室、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス
5. 問合せ先：
 国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 企画調整課長 野村
 電話：0548-63-4840 FAX：0548-63-4826

【参考】当日の作業状況

7:00～9:00	ケーソンの浮上作業<②>
9:00～10:00	ケーソン海上曳航<③>
10:00～12:00	ケーソン据付準備（ワイリング, 1次注水）
12:00～12:30	ケーソン据付（位置決め）<④>
12:30～13:30	ケーソン据付（2次注水）
13:30頃	ケーソン着底
14:00～16:30	中詰材の投入<⑤>



① 据え付けたケーソン



②ケーソン内にある海水を排水



③ケーソンを据付場所まで曳航



④ケーソンの据付位置を調整



⑤ケーソンに中詰材を投入



⑥ケーソンの回りに根固ブロックを据付（作業は後日）